車椅子での外出を可能に

デッキ・段差昇降機で介護リフォーム

ベストホーム

東洋エクステリアの施工コンクールで「ニコニコ賞」を受賞したベストホーム（岡山市、藤本誠二社長）の作品は、デッキと段差昇降機を活用した介護リフォーム。エクステリア業界で、こうした作品が受賞に輝いたのは初めてではないだろうか。

住宅では介護リフォームは、バリアフリー住宅に代表されるように一定の市場として成立している。

住宅内部をリフォームし玄関からの出入りを車椅子対応にするのは、困難な場合やコストがかかり過ぎるケースも多い。

外に手軽に出るのが目的であるなら、玄関にこだわらずデッキを利用する方が、コストも安く実現できる。

福祉住環境コーディネイター二級の資格をもつ藤本社長は、以前から介護リフォームに取組んできたが、設計者の光亦早苗氏は、今回が初めての経験。ケアマネージャーとの打合わせ、役所への申請など、施主との打合わせ以外の仕事もこなした。

施主は、2年前に、事故で脊髄を傷め車いすの生活になった。自由に屋外に出れるようにしてほしいというのが要望。

そのため、デッキに続く通路も車椅子が活動し易いように整備した。

光亦氏の話…施主さんに感謝され、大変喜ばれたのが、ものすごくうれしい。反省は、今日みたいな寒い日も、デッキにサンルームのようなものがついていたら、日光浴ができたのにと思います。次の機会には、予算の都合はあるにしても、提案をしてあげる方が、後で追加するより費用も安くなると思います。

設計した光亦氏

TOEX第30回EX施工コンクールでニコニコ賞を受賞

施工後

施工前